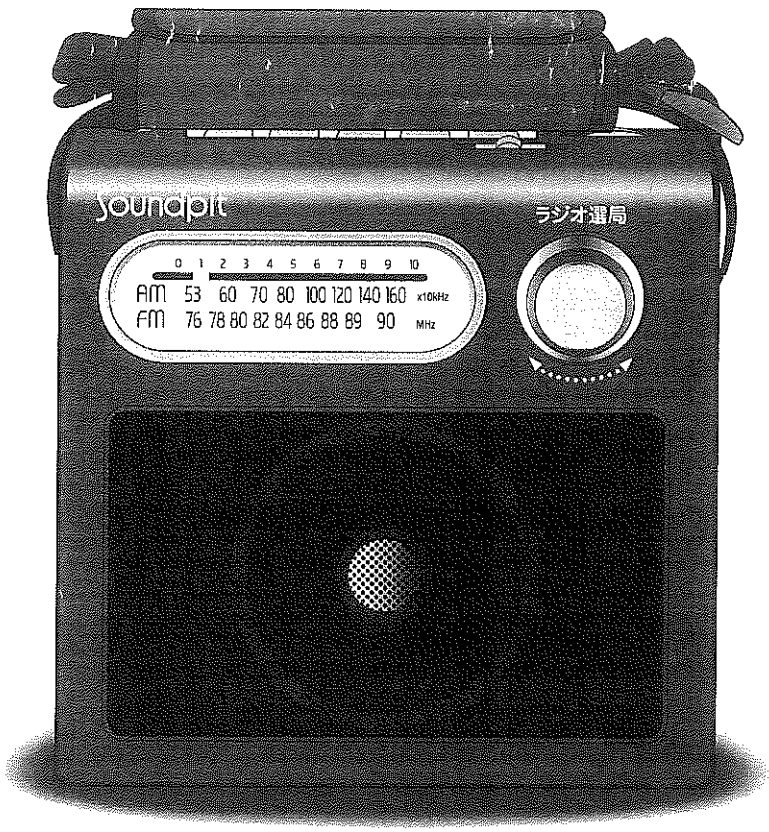
Soundpit® *Radio Cassette Recorder/RCS-1341M*

AM/FMラジオカセットレコーダー

RCS-1341M 取扱説明書 保証書付

ショルダーストラップ付きで
持ち運びに便利な
コンパクトラジカセ

- 内蔵マイク搭載
- 背面カセットのコンパクト設計
- ラジオ電源スリープ停止機能搭載



このたびは、Soundpitラジオカセットレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと大切に保存し、必要なときにお読みください。

目　次

安全上のご注意 …… 1～3
電源について …… 4
各部の名称 …… 5
ご使用になる前に …… 5
ラジオ放送を聴く …… 6
テープを聴く（再生） …… 7
テープに録音をする …… 8
イヤホンで聴くときは …… 9
ご使用上の注意 …… 9
お手入れ方法 …… 9
主な仕様 …… 10
故障かなと思ったら …… 10
保証書とアフターサービス

安全上のご注意

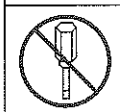
製品を安全にご使用いただくため、この「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様または第三者への危害や財産への損害を未然に阻止するためにいろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡や大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりケガをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

	△記号は、注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 （左図の場合は感電注意が描かれています。）
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 （左図の場合は分解禁止が描かれています。）
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。 （左図の場合電源プラグをコンセントから抜く、が描かれています。）

※この製品の故障、誤動作、不具合などによって発生した次にあげる損害などの附属的損害補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
●お客様または第三者が当製品および外部接続機器へ記録された内容の損害
●再生および録音においてお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

⚠警告

 異常の時にプラグをコンセントから抜く	●煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因になります。 すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。 煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。	 接触禁止 感電に注意	●雷が鳴り始めたらアンテナやACアダプターに触れないでください。 (感電の危険があります。)
 水が入った場合はプラグをコンセントから抜く	●内部に水などが入った場合は、ACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。	 禁止	●表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。 火災・感電の原因となります。
 異物が入った場合はプラグをコンセントから抜く	●機器の内部に異物が入った場合は、ACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。	 水かけ禁止	●浴室やシャワー室では使用しない。 浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しないでください。 (火災・感電の危険があります。)
 分解禁止	●本体を修理、改造しないでください。 火災・感電の原因となります。	 禁止	●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷きにならないようにしてください。 コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。 (コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがあります。)
 禁止	●この機器を使用できるのは日本国内のみです。 自動車・船舶などの直流DC電源には接続しないでください。 火災・故障の原因となります。		
 コードを交換する	●電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店または弊社修理係に交換をご依頼ください。弊社保証書規定に基づき、無償または有償にて交換いたします。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。	 禁止	●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。 コードが破損して火災・感電の原因となります。

⚠注意

禁止	●調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気が当たるような場所に置かないでください。 火災・感電の原因となることがあります。	プラグをコンセントから抜く	●お手入れの際には安全のためACアダプターをコンセントから抜き、乾電池を取り外してください。 感電の原因となることがあります。
	●ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。	禁止	●濡れた手でACアダプターを抜き差しないでください。 感電の原因になることがあります。 ●ACアダプターを抜くときは、ACアダプターコードを引っ張らないでください。 コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。 必ずアダプター本体を持って抜いてください。
	●ACアダプターコードを熱器具に近付けないでください。 コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。		
	●窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。 キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災・感電の原因となることがあります。	プラグをコンセントをから抜く	●移動させる場合は、必ずACアダプターをコンセントから抜き、ヘッドホンを外してから行ってください。 コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。 必ずアダプター本体を持って抜いてください。
	●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。 火災・感電の原因となることがあります。	アンテナに注意	●持ち運びするときは、アンテナを折り畳んでください。 伸ばしたまま持ち運びするとアンテナが引っ掛かったり、当たったりなどしてけがの原因になることがあります。
音量は小さく	●電源を入れる前には、音量ボリュームを最小にしてください。 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因になることがあります。	指を挟まれないように注意	●お子様が、カセットテープ挿入口に手を入れないようにご注意ください。 けがの原因となることがあります。
乾電池の電極性に注意	●電池を機器内に挿入する場合、極性表示(プラス+とマイナスーの向き)に注意し、表示通り正しく入れてください。 間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	音量に注意	●イヤホンをご使用になる時には、音量を上げ過ぎないようにご注意ください。 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
禁止	●指定以外の乾電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池、アルカリとマンガンなど種類の異なる電池を一緒に混ぜて使わないでください。乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	プラグをコンセントから抜く	●旅行などで長時間本機をご使用にならないときは、安全のために必ず、ACアダプターをコンセントから抜き、乾電池も取り外してください。 火災、液もれの原因となることがあります。

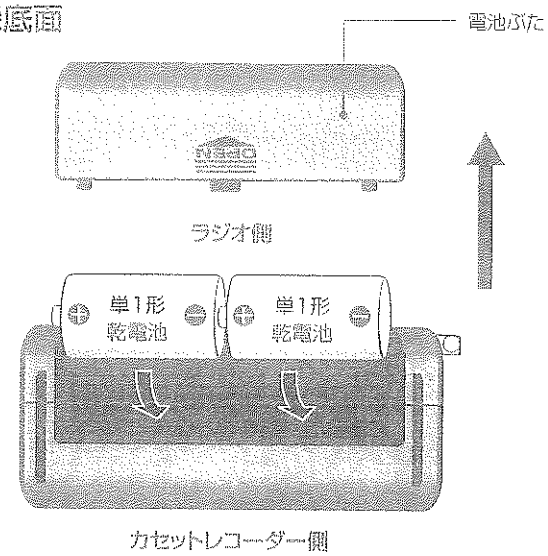
電源について

> ⚠注意
>
> ACアダプターコードを抜き差ししたり電池を出し入れするときは、切換スイッチをテープ(ラジオ切)側にして電源が切れた状態で行ってください。

乾電池(別売)で使うには

本体底面の電池ぶた上部にある矢印部分を押しながら、電池ぶたを開いてください(図参照)。
次に電池ボックス内の表示通りに、単1形乾電池(別売)を2本、＋－の極性を正しく入れます(図参照)。
電池を入れ終えましたら、電池ぶたを元通りにパチンと音がするまで閉めてください。

本機底面



乾電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

●乾電池が液漏れしたときは素手で液をさわらない。

液が本体内部に残ることもあるので、販売店、オーム電機修理係にご連絡ください。
液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐにきれいな水で充分洗い、直ちに医師の治療を受けてください。液が体や衣服に付いたときも、すぐにきれいな水で洗い、皮膚にけがや炎症があるときは医師に相談してください。

⚠警告

●飲み込む恐れがあるので乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談する。
●機器の表示に合わせてプラスとマイナスの極性を正しく入れる。
●充電しない。火の中に入れない。分解、加熱しない。
●金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
●液漏れした電池は使わない。
●使い切った電池は取り外す。長時間使用しないときも取り外す。
●新しい電池と使用した電池、種類の違う電池(アルカリ電池、マンガン電池など)を混ぜて使わない。

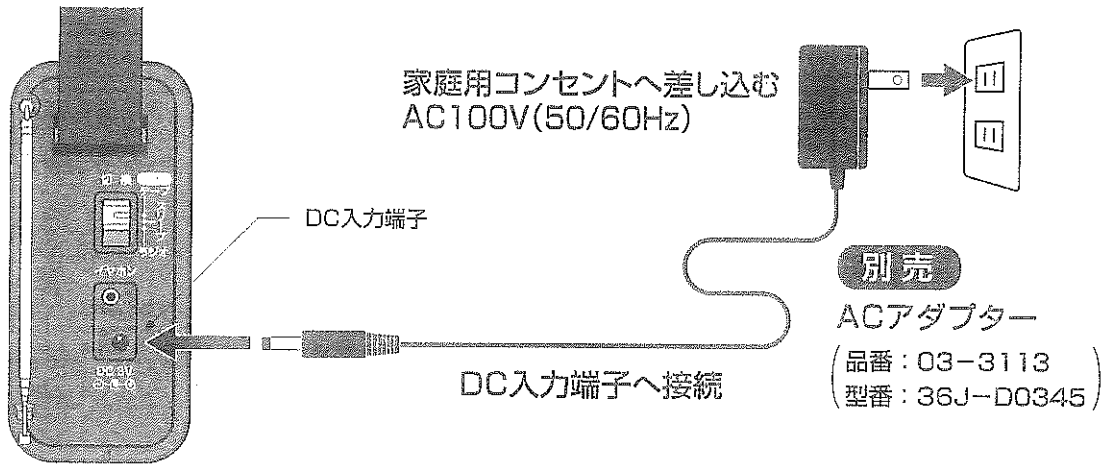
⚠注意

●火のそば・直射日光の当たる所・炎天下の車中などの高温の場所で使用・保管・放置しない。
●外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
●指定された種類以外の電池は使用しない。

家庭用コンセントで使うには

●ACアダプターコードを、本機背面にあるDC入力端子へ接続した後、家庭用コンセントへ差し込んでください。
●電池が入っている場合でも、ACアダプターコードを接続すると自動的にAC電源に切り替わります。
●本機を使用しないときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

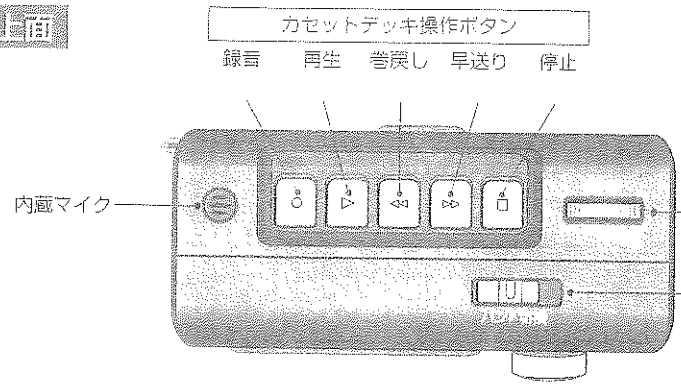
本機側面



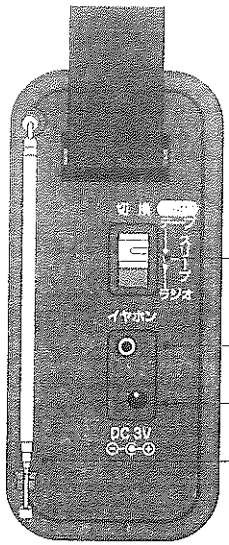
※電池残量が少なくなるとカセットデッキが動かなくなります。
※大切な録音をするときは、別売ACアダプターを使用してください。

各部の名称

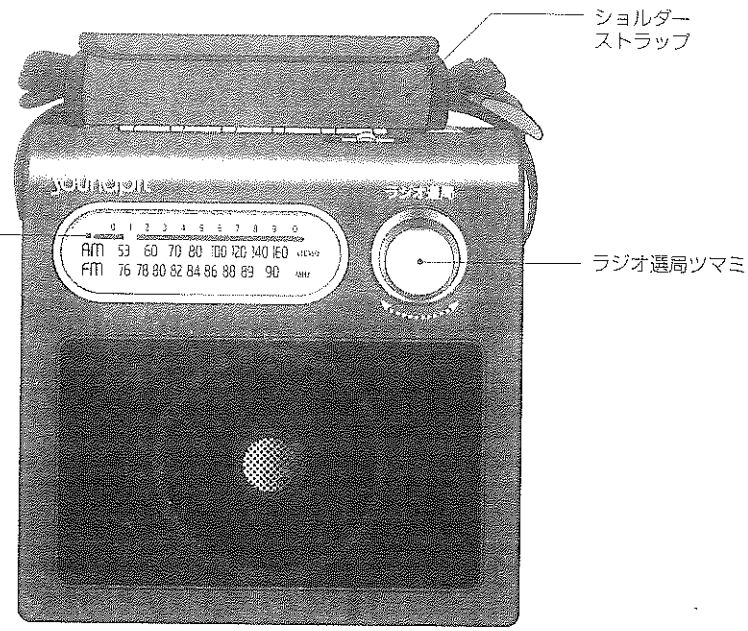
上面



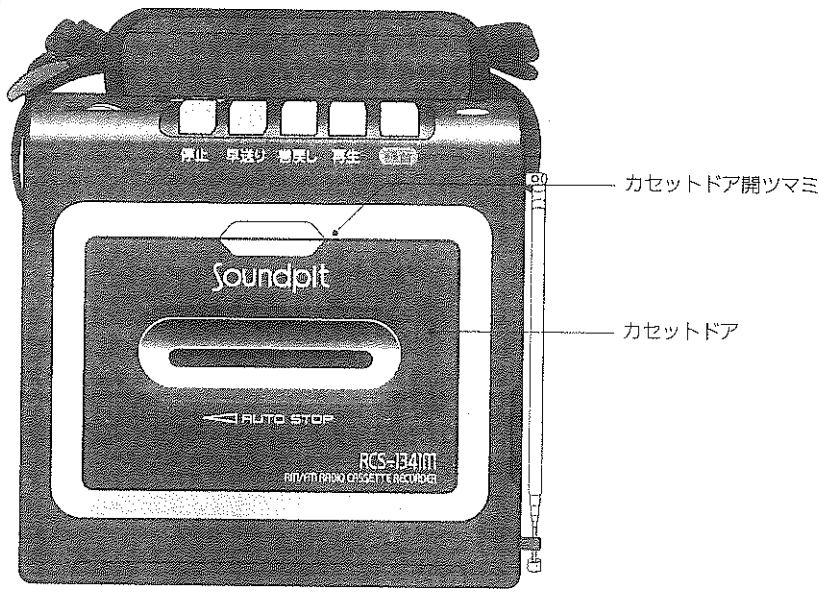
左側面



ラジオ面



カセットレコーダー面



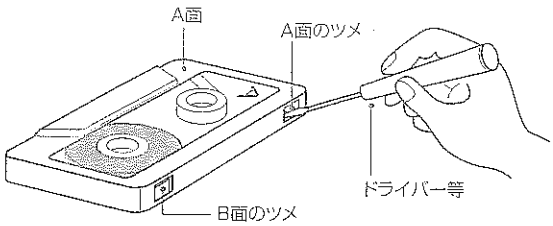
ご使用になる前に

使用できるテープの種類は

ノーマルテープ(TYPE Ⅰ)をお使いください。クロームテープ(TYPE Ⅱ)や、メタルテープ(TYPEⅣ)では使用できません。ノーマルテープにおきましても、C-90以上の長時間テープは通常のカセットテープに比べてテープそのものが非常に薄いため、伸びたり、回転部分に巻き込まれる等のテープトラブルの原因となりかねませんのでご使用はおやめください。

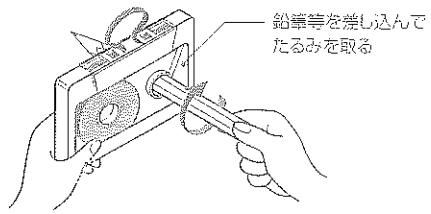
●録音した内容を誤って消去しないために

カセットテープの背面にある誤録音防止用のツメをドライバーで折ります。



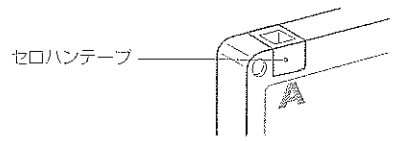
●カセットテープのたるみについて

ご使用する前に、テープのたるみを取り除いてください。たるんだ状態のテープを使用すると、テープが機械に巻き込まれ使えなくなることがあります。



●ツメを折ったカセットテープにもう一度録音するには

ツメを折った穴をセロハンテープ等でふさぎます。



※このラジオカセットレコーダーはモノラル機器です。ラジオ・カセット・の再生音はモノラルです。ステレオ録音されたカセットテープは左右の音が混合されたモノラル音で再生されます。

ラジオ放送を聴く

1. テープ(ラジオ切)／スリープ／ラジオ切換スイッチをラジオ側にします。
2. AM／FMバンド切換スイッチで、AMかFMのいずれかを選びます。
3. チューニングツマミで放送局を選局し、音量ツマミで音量を調節します。
4. ラジオを切るときは、テープ(ラジオ切)／スリープ／ラジオ切換スイッチをテープ(ラジオ切)側にします。

受信状態を良くするには

●FM放送の受信

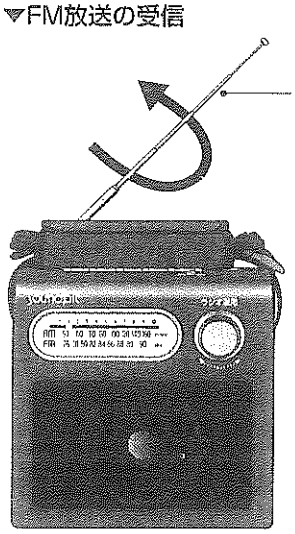
FMアンテナを最長に伸ばし、長さ、方向、角度を変えて、受信状態が最も良くなるように調節します。

※本機のFMアンテナは収納式です。アンテナ支持部から立ち上げた状態で角度を可変することが出来ます。収納時はアンテナを垂直にして押し込んでください。
※アンテナを伸ばした時は、先端でケガ(特に目など)をしないように注意してください。

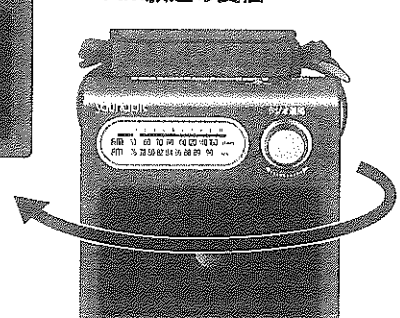
●AM放送の受信

本機にバーアンテナが内蔵されています。本機を動かして最も受信状態の良い向きを見つけてください。室内の場合窓際の方が良く受信できます。

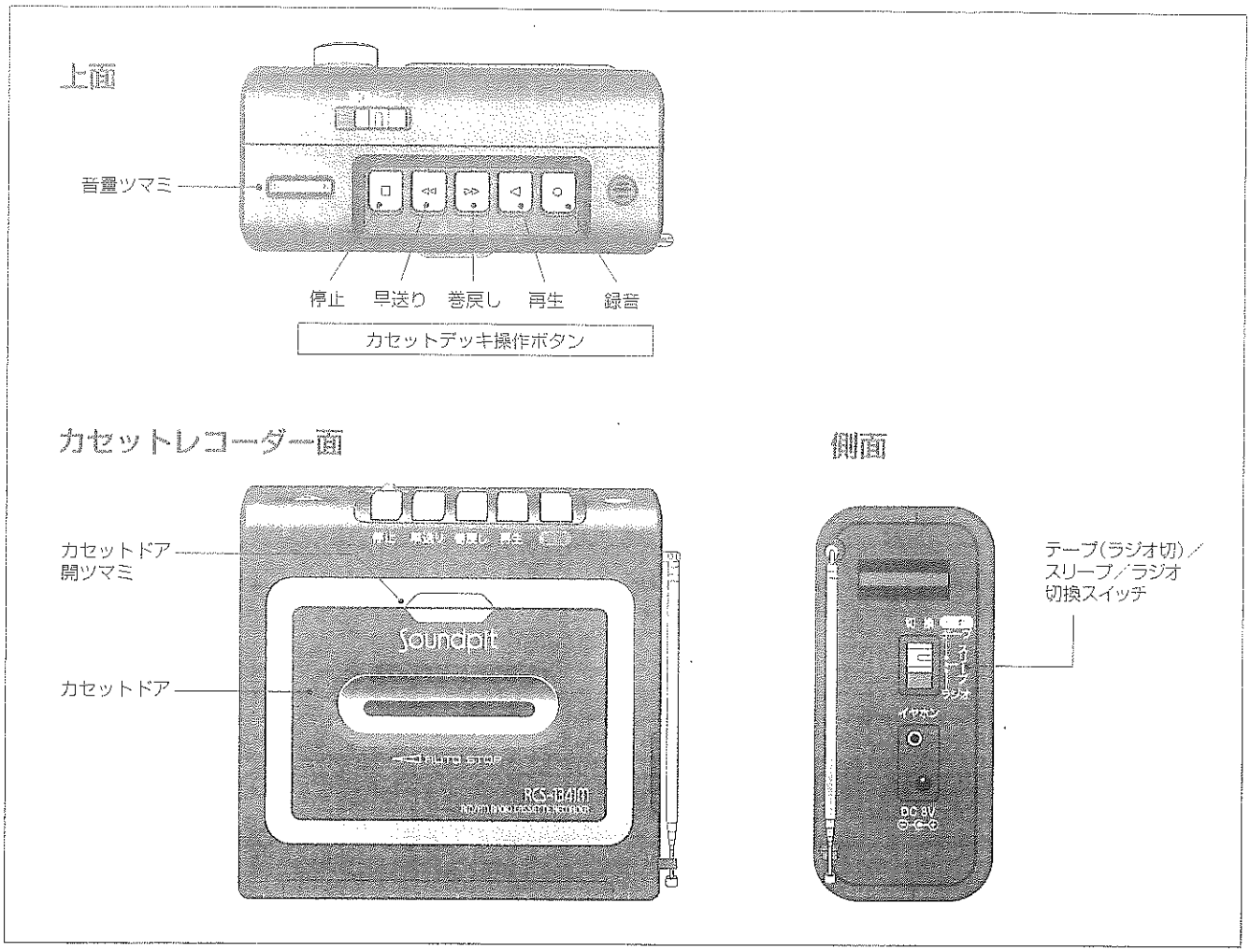
▼FM放送の受信



▼AM放送の受信



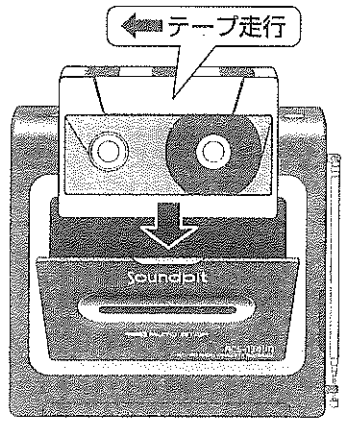
テープを聴く(再生)



1. テープ(ラジオ切)／スリープ／ラジオ切換スイッチをテープ(ラジオ切)側にします。
2. カセットドア上部のカセットドア開ツマミを手前に引いて、カセットドアを開け、カセットテープを正しく装着し(右図参照)、カセットドアの上部を指で押して確実に閉めてください。
3. 再生ボタンを押すとテープが再生されます。音量ツマミで音量を調節してください。
4. テープを止めるときは、停止ボタンを押すとテープ走行が止まります。カセットドアを開けてテープを取り出して、カセットドアを閉めてください(カセットドアを閉める時は、ドアの上部を押して閉めてください)。

カセットテープの正しい装着

カセットテープは聴きたい面を手前にテープの見える方を上に装着します。



テープは向かって右から左へ走行します。

オートストップ機能

テープの再生・録音時にテープが終わりまで行くと自動的に止まり、押し込まれていた操作ボタンも自動的に上がります。早送り・巻き戻し時は停止ボタンを押して停止してください。(テープが絡まる場合があります。ご注意ください。)

カセットデッキ操作部ボタンの基本操作一覧

■ 停　止…… 早送り・巻き戻し・再生・録音中に押すとそれらの動作を停止します。
◀◀ 早送り…… 押すとテープを左側のリールに早送りします。
▶▶ 巻戻し…… 押すとテープを右側のリールに巻き戻します。
◀ 再　生…… 押すとテープを再生します。
● 録　音…… 押すとテープを録音します。再生ボタンも同時に押し込まれ録音状態になります。

※録音・再生・早送り・巻戻しの切換は、テープ走行を停止させてから行ってください。テープ絡まりや、テープ切れ等の故障の原因となります。

テープに録音をする

ラジオやテレビの音を録音する場合

1. テープ(ラジオ切)／スリープ／ラジオ切換スイッチをラジオ側にし、放送局を選局します。(詳しくはP.7ラジオ放送を聴くを参照)
2. カセットドアを開け、カセットテープを正しく装着し、カセットドアを閉めてください。
3. カセットデッキ操作ボタンの録音ボタンを押します。
4. 録音を終えるときは、カセットデッキ操作ボタンの停止ボタンを押します。

内蔵マイクから録音する場合

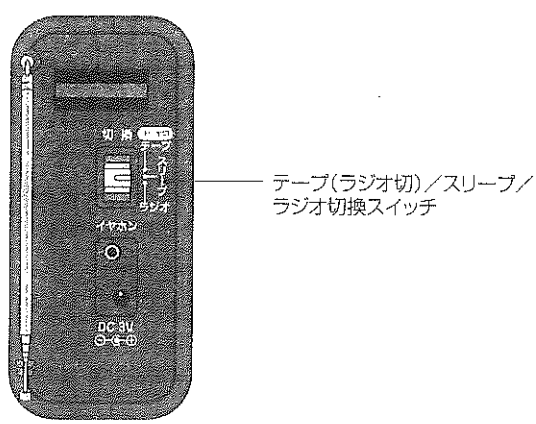
1. テープ(ラジオ切)／スリープ／ラジオ切換スイッチをテープ(ラジオ切)側にします。
2. カセットドアを開け、カセットテープを正しく装着してドアを確実に閉めてください。
3. カセットデッキ操作ボタンの録音ボタンを押します。
4. 録音を終えるときは、カセットデッキ操作ボタンの停止を押します。

スリープ機能(ラジオ電源スリープ停止機能)の使い方

カセットの再生・録音後、テープの終了時にラジオの電源が切れる機能です。(60分テープ(片面30分)ご使用時の場合、巻戻してある状態から約30分で電源が切れます。)

1. テープ(ラジオ切)／スリープ／ラジオ切換スイッチをスリープ側にします。
2. カセットドアを開け、カセットテープを正しく装着してドアを確実に閉めてください。
3. カセットデッキ操作ボタンの再生または録音ボタンを押します。
4. テープの再生・録音残り時間後にラジオの電源が切れ停止します。(30分テープをご使用になられる場合は、巻戻した状態から、約15分後に電源が切れます。)

※スリープ機能が働く前に再生または録音を止めるときは、カセットデッキ操作ボタンの停止を押します。



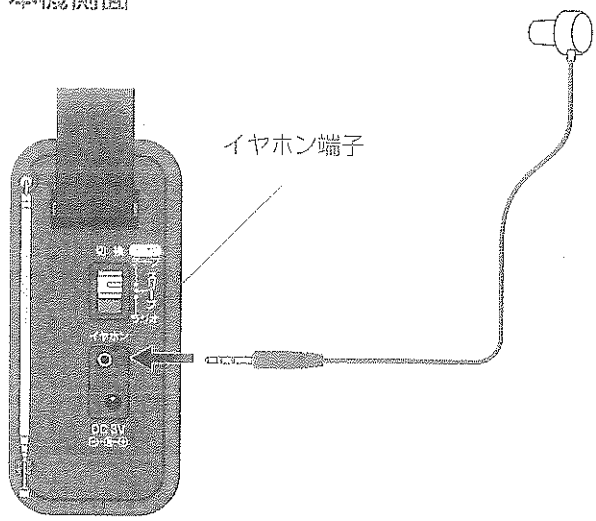
※録音レベルは、ラジオ・マイク共に音声自動調節で一定に録音されますので、録音時に音量ツマミを操作しても録音には影響がありません。自由にお楽しみください。

イヤホンで聴くときは

別売のイヤホン(φ3.5mmミニプラグ)を、本機側面にあるイヤホン端子につなぎます。イヤホンをつなぐとスピーカーからの音は聴こえなくなります。

※イヤホンをご使用になられるときは、本機の音量を下げた状態でイヤホン端子のご接続ください。また、使用時の音量の上げすぎにもお気をつけください。聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。
※ステレオタイプのヘッドホン・イヤホンでもお聴きいただけますが再生音はモノラルで左・右同じ音になります。

本機側面



ご使用上の注意

●持ち運び時は、目をついたりして危険ですのでFMアンテナは縮めた状態でお持ち運びください。
●近隣への迷惑にならないよう、音量には十分注意しましょう。

お手入れ方法

●本体のクリーニング

本機表面の汚れは柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい時は、布をぬるま湯か、薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いたあと、から拭きしてください。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを痛めますので、絶対に使用しないでください。

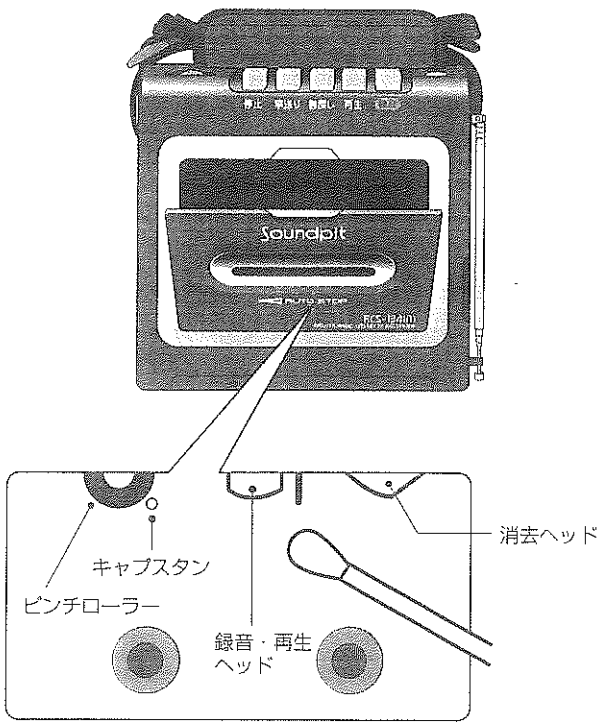
シンナー、ベンジン、
アルコールは使用しないで
ください。

●カセットデッキ・ヘッド部のクリーニング

ヘッド、キャプスタン、ピンチローラーなどのテープと接触する面の汚れは、雑音や不安定なテープ走行の原因となります。

定期的に(約20時間のご使用を目安に)お手入れをしてください。

お手入れの方法は市販の綿棒に無水アルコールか、クリーニング液を少し含ませて右図に示したヘッド部分の汚れを丁寧に拭き取ります。この時、綿棒をキャプスタンやピンチローラーに巻き込まれないようにご注意ください。



主な仕様

電　　源：DC3V(単1形乾電池×2本、別売り)
消費電力：14W
受信周波数：FM76～90MHz ／ AM530～1605kHz
アンテナ：FMロッドアンテナ／ AM内蔵フェライトバーアンテナ
スピーカー：77mm
出　　力：0.25W
本体寸法：158(幅)×76(奥行)×163(高さ)mm(突起含まず)
質　　量：約750g(電池含まず)
アルカリ乾電池使用時の連続使用可能時間(音量中にて)
　　：テープ再生時間　約40時間
　　：AM/FMラジオ　約160時間
付属品：ショルダーストラップ、取扱説明書(保証書付)
オプション：ACアダプター(別売　品番：03－3113　型番：36J－D0345)

※仕様および外観は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

故障かな？と思ったら

症　状	チェック項目
音が出ない	●ACアダプターがしっかり差し込まれていますか。乾電池が入っていますか。 ●乾電池の入れる向きが正しいですか。乾電池が切れていませんか。 ●音量が最小になっていませんか。 ●イヤホンがイヤホン端子に接続されたままになっていませんか。
カセットが入らない	●カセットを逆向きに入れていませんか。操作ボタンを押していませんか。
テープが走行しない	●ACアダプターがしっかり差し込まれていますか。乾電池が入っていますか。 ●乾電池の入れる向きが正しいですか。乾電池が切れていませんか。 ●一時停止ボタンを押していませんか。
テープが機械に巻き付く	●ピンチローラーやキャプスタンが汚れていませんか。テープがたるんでいませんか。 カセットドアーがきちんと閉まっていますか。
テープ走行が不安定	●テープがたるんでいませんか。乾電池が消耗していませんか。
雑音・音が震える・音とび	●ヘッド部が汚れていませんか。
録音ボタンが押せない	●カセットが入っていますか。カセットの誤録音防止用ツメが折れていませんか。 カセットドアーがきちんと閉まっていますか。
録音できない	●消去ヘッドが汚れていませんか。 ●クロームテープやメタルテープを使用していませんか。
前の録音が消去されない	●消去ヘッドが汚れていませんか。 ●クロームテープやメタルテープを使用していませんか。
ラジオ時に雑音が入る	●近くで携帯電話を使用していませんか。(携帯電話を本機から離して使用) ●テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信していませんか。(雑音が入る事があります)